



県政報告 県政を身近に

令和4年
2022
夏季号

Vol.44

埼玉県議会議員

武内まさふみ

【発行】
埼玉県議会 自由民主党議員団

〈ごあいさつ〉

6月定例会においては、原油高や物価の高騰により影響を受けた事業者などへの支援策をはじめ、県内で6月3、4日に降ったひょう被害への支援などの補正予算を可決しました。

この度、私は副議長として初めて、本会議場の議長席において一般質問の議事を担当させていただきました。議事を円滑に進める役割の重要性和責任の大きさを痛感いたしました。引き続き、県の二元代表制の一翼を担う県議会の代表として、その職責を全うしてまいります。

新型コロナウイルスの感染が再び増加する中で、皆様には暑さ対策と併せて、感染予防に留意され暑い夏を乗り切ってください。

自民党県議団が議員提案政策条例2本を提出し成立

①「部落差別の解消の推進に関する条例」

現在もなお部落差別が存在するとともに、インターネットやSNSなどの情報化の進展に伴って部落差別に関する状況が変化しています。こうした状況を踏まえて、自民党議員団は、法律の基本理念にのっとり県独自の条例を提案し、部落差別の解消を進めることとしました。

②「性の多様性を尊重した社会づくり条例」

今日、LGBTQなど個人の性的指向や性自認が多様化している一方で、当事者が不都合や不合理を感じるケースが増えています。また、性の多様性を尊重したLGBTカップル向けの「パートナーシップ制度」を進める市町村も増えています。そうした状況を踏まえ、自民党議員団では、人権を尊重する社会の実現という観点から、本条例を提案しました。

武内副議長 初の本会議議事を進行

5日間に亘って行われた一般質問。2人目の議事を議長に代わり進行しました。

(6月27日)



令和4年6月定例県議会 (令和4年6月17日～7月7日)

物価高騰対策等の補正予算 一般会計 27億4,975万1千円

1 原油価格・物価高騰の影響を受ける生活者に対する緊急支援 5億495万円

- 低所得のひとり親世帯に対し、児童一人当たり5万円を支給 **2億7,926万円**

※6月中に給付できるようにするため、本議案のみ県議会開会日(6月17日)に審議・可決しました。

- 学校給食を実施している学校の保護者等の負担増加を回避するため、令和4年度中、食料価格高騰相当額を補助 **9,406万円**

- 夏休み期間中、子ども食堂などに食品や学用品を提供 **8,137万円**

2 原油価格・物価高騰の影響を受ける事業者に対する緊急支援 9億6,900万円

- 県内のバス、タクシー事業者に対して燃料費高騰の影響分を補助 **4億2,880万円**

- 県内観光関連事業者に対し、経営支援とバスツアー作成への補助 **2億9,306万円**

- 中小企業等への経営安定資金の緊急融資枠を100億円から300億円に拡大 **7,000万円**

- 畜産農家に対して、配合飼料価格の一部を補助 **1億745万円**

3 脱炭素社会に向けた省エネ・再エネ設備投資の促進

- 中小企業等の省エネ・再エネ設備投資への補助拡充及び設備投資促進資金にエネルギー対策特例 **4億700万円**

- 既存住宅へのエネファームや蓄電システムなどの導入経費への補助 **2億9,400万円**

- 施設園芸農家のヒートポンプなどの省エネ機器の導入経費を補助 **4億3,001万円**

降ひょう被害に対する支援のための追加補正予算 8億7,500万円

6月2日、3日に降ひょうによる農作物などの被害を受けた県北部、東部地域などの市町に対する支援として、追加の補正予算が知事から提案され、県議会で可決しました。

降ひょう被害にあった22市町のうち11市7町が減収量が30%以上となり、県条例に基づく特別災害に指定されました。これに対して、病害虫の防除用農薬、樹勢の回復用肥料及び次期作の種苗等の購入費用を補助。また、農業用ビニールハウスや防ひょう網などの修繕費用への無利子化や融資枠を拡大することとしました。さらに、特別災害に該当しない4市に対しては、施設復旧に必要な資金融資枠の拡大と無利子化を図るものです。

降ひょうによる特別災害の指定

■ 条例に基づく支援対象市町(11市7町)

■ 減収量や施設の損失が30%未満等の被害市(4市)

□ 被害なし



特別災害の指定要件(降ひょう)

- 農作物の減収量が30%以上となった「ほ場の面積」が隣接する市町村の区域内に5ha以上。
- 施設の損失が30%以上となった「農業者の戸数」が隣接する市町村の区域内に5戸以上。



通学路の道路標識を明示する安全対策を実施

埼玉県警察本部では、令和3年6月に千葉県八街市で発生した通学路における交通死亡事故を受け、通学路の安全対策として策定した「第5次埼玉県通学路整備計画」に基づき、早期の通学路の安全対策を進めています。

その一環として、令和4年2月定例会に提案された補正予算（9,519万円）により、今年度中に県内615か所の横断歩道や一時停止などの道路標

識を塗り替え、新設を行うこととしました。毛呂山町では9か所（補修6、新設3）、越生町では1か所（補修）、鳩山町では6か所（補修）が対象となります。

なお、本計画にない個所についても、安全対策上の観点から引き続き塗り替えや新設等を行っていきます。

※詳細については、各町役場または西入間警察署にお問い合わせください。

区分	事業項目	対象箇所 (全体)	R3 ① 対策箇所	R3 補正 ② 事業量	R3 補正 ② 対策箇所	R4 ③ 対策箇所	R5～8 対策箇所
交通規制の 新設等	道路標識			571 本			
	道路標示(横断歩道)	792箇所	133箇所	13 km	615箇所	—	44箇所
	道路標示(停止線等)			4 km			
信号機の改良	歩車分離化	4箇所	—	2 基	2箇所	—	2箇所
	歩行者用灯器増灯	44箇所	1箇所	— 灯		34箇所	9箇所
信号機の新設	押ボタン信号機等	42箇所	6箇所	— 基		—	36箇所
		882箇所	140箇所		617箇所	34箇所	91箇所

越生町
①西和田390-9付近（横断歩道）

鳩山町
①熊井2024-1付近（横断歩道）
②赤沼1535-1付近（一時停止）
③赤沼1516-8南側（一時停止）
④鳩ヶ丘1-5-5付近（横断歩道等）
⑤松ヶ丘1-1-2付近（横断歩道等）
⑥鳩ヶ丘1-16-1付近（横断歩道等）

毛呂山町
①平山3-6付近（一時停止）
②若山3-16付近（横断歩道）
③若山3-35付近（一時停止）
④若山15付近（一時停止）
⑤川角449付近（横断歩道）
⑥県道川越越生線市場1043付近（横断歩道 新設）
⑦市場137付近（横断歩道 新設）
⑧下川原478-3付近（横断歩道）
⑨下川原179付近（横断歩道 新設）



鳩山町鳩ヶ丘1-5-5付近



越生町西和田390-9付近



毛呂山町平山3-6付近

道路標識の状況を視察中の武内県議。計画場所以外にも消えかかっている標識を確認しました。
(6月15日)



毛呂山町下川原179付近

武内まさふみの活動日誌

副議長の主な公務（4月～6月）

◆埼玉県選出国會議員及び全国議長会事務局長を訪問（4月5日）



▲参議院議員会長室にて

◆県土都市整備委員会（4月15日） ◆埼玉県市町村監査委員協議会総会（5月16日）

◆埼玉県町村会定期総会（5月20日）



▲県議会を代表してあいさつ

◆埼玉県私立小学校中学校高等学校保護者連合会定期総会（6月5日） ◆議会運営委員会（6月10日）

◆埼玉県建築士事務所協会定時総会（6月15日） ◆6月定例県議会（6月17日～7月7日）

◆「県展」授賞式（6月18日）



▲埼玉県議会議長賞を授与

議会広報番組「副議長インタビュー」収録（5月31日）

6月26日（日）10:00からテレビ埼玉で放送されました。放送の録画をご覧になりたい方は、以下の埼玉県議会ホームページにアクセスしてください。
埼玉県議会ライブ中継・録画中継
<https://www.pref.saitama.lg.jp/e1601/gikai-chuukei.html>



議員活動

◆知事のふれあい訪問に同席（5月25日）

大野知事が地域で活躍している団体、企業や個人を訪問して話を聞く「ふれあい訪問」が行われました。今回は、越生町にあるカフェ「オクムサ・マルシェ」と毛呂山町にあるいちご農園「苺の里」を訪問しました。

オクムサ・マルシェのオーナーである浅見さんご夫妻から、生まれ故郷に戻りカフェを始めた経緯や地元の魅力などをお聞きしました。また、苺の里のオーナー田中さんご夫妻から、毛呂山町に移住しいちご農園を始めた経緯やこれからの取り組みなどをお聞きしました。県の進める移住政策に大変参考になりました。



▲オクムサ・マルシェにて



▲いちご農園「苺の里」にて

◆大雨により倒木した現場を視察（6月7日）

飯能県土整備事務所から大雨により林道で倒木があり、林道が通行止めになっているとの連絡があったので、現場に急行。越生町役場職員と撤去業者が作業中でした。通行止めは当日解消されました。

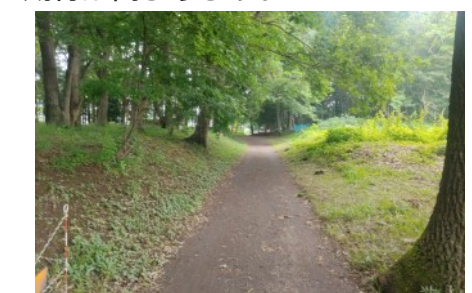


▲林道をふさいだ倒木（越生町上谷地内）

◆国史跡指定となる「鎌倉街道上道」（毛呂山町）を訪問

かみつみち

（6月18日）
国の文化審議会は「鎌倉街道上道」を国史跡に指定するよう文部科学大臣に答申しました。県内の国指定史跡は今回の指定により23件となります。毛呂山町での国指定史跡は初であり、街道を中心とした国の史跡指定は県内初となります。今後の維持・活用方策に期待が高まります。



▲国史跡に指定された鎌倉街道上道